

## 明治グループの新型コロナウイルス感染症への対応

明治グループは、新型コロナウイルス感染症に対してさまざまな取り組みを行っています。

- お客さまに対して
  - ・生活に必要な食品や医薬品を製造するメーカーとしての供給責任を果たすべく、国内外の全ての工場生産活動を続けています。
- お取引先に対して
  - ・お客様への商品供給のため、原料を供給していただくサプライヤーや販売していただく卸売業や小売業の皆様と連携を強化させていただいております。
- 従業員に対して
  - ・従業員とその家族の安全のため、極力テレワークや時差出勤などとし、感染防止に努めています。なお、オフィス系の事務所においては、出勤率を概ね50%以下とするようにしております。
  - ・工場での生産や商品供給に関わる従業員については、マニュアルに従って衛生管理を徹底し、安全な労働環境の整備を行った上で業務を行っています。

### テレワーク等実施状況

期間	出勤率※
2021年9月（9月1日～9月30日）	48.6%

※明治ホールディングス（株）、（株）明治、Meiji Seika ファルマ（株）3社の本社の合計値

- 地域社会に対して
  - ・フードバンク団体や医療機関などへの製品の寄贈などを通じて継続的に支援をしております。
- 株主・投資家に対して
  - ・適切な情報開示に努め、業績に大きな影響が発生する場合は速やかに開示します。また、財務の安全性に配慮しながら計画の遂行に努めてまいります。

新型コロナウイルスワクチンの開発と供給に向けて、以下の取り組みを進めています。

- KMバイオロジクスの不活化ワクチン※開発状況
  - ・2020年5月に国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の公募研究開発課題「新型コロナウイルス感染症に対するワクチン開発（企業主導型）」に採択され、基礎研究、非臨床試験、臨床試験（Ⅰ相Ⅱ相）の研究助成を受けワクチン開発をスタートしました。
  - ・2020年7月に厚生労働省「ワクチン生産体制等緊急整備事業」の公募に採択され、2021年度末までに半年で3,500万回分を生産できる体制の整備を進めています。
  - ・2020年8月にAMEDの2次公募（第Ⅲ相臨床試験の研究助成）に採択されました。
  - ・2021年3月22日より臨床試験（Ⅰ相Ⅱ相）を開始、優れた安全性および有効性が期待できる結果が得られました。今秋に最終段階の臨床試験を開始すべく準備を進めています。

● アストラゼネカ社が開発するワクチンの国内供給に関する協業

- ・ 2021年2月に、Meiji Seika ファルマとKMバイオロジクスはそれぞれアストラゼネカ社と業務委託契約を締結しました。
- ・ 契約に基づき、KMバイオロジクスは「新型インフルエンザワクチン開発・生産体制整備事業」で整備した設備を活用し、2021年3月19日よりアストラゼネカ社から供給された原液の製剤化（バイアル充填・包装）を開始しました。
- ・ Meiji Seika ファルマは8月より自らが保有するワクチン流通・供給体制を活用してアストラゼネカ社のワクチンの保管・配送・安全性情報の収集の業務を開始しました。

※ 不活化ワクチンとは、大量に培養されたウイルスや細菌からウイルス粒子や細菌の菌体を集めて精製した後、加熱やホルマリン等の薬剤を用いて処理をし、感染力や毒力をなくした病原体やその成分で作ったワクチンです。

以上